

第2部 今後の方策に関する審議

Kerichi Ohmae Graduate School of Business

<審議事項>中長期計画について

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4 5 67 8 9 10 11 12 1 2 3
2-a. 6-b. 7-c.実務家教員・	: 研究者教員の共同科目の開 Bb			
■ 6-c. 理論系科目設置				•
<u>7-a. DX系科目の</u>	: 開発 ::	7-b.ケーススタディ科目開発	2-a. 8-c.実務家教員採用を目的としたコンテンツ会議の活用	,
1-a.法人チャネルの拡大・コンテンツ/メールマーケティングの充実				
_ 6-a 8-a1-e.法人向	け演習科目の開発			
■ 研究者教員の採用	8-b 研究者教員の研究業績 基準の厳格化 1-b.同窓会連携強化	4-b.5-b. ドロップアウト予測 I-a.5-a.学生間、学生-教員間の関係性強 1-c. 同窓会サイト改善	1-d.企業内アルムナイ立ち上げ 化	

5ヶ年の目標

- 1. 世界で活躍するビジネスパーソンの育成
- 2. 実践的学習の強化
- 3. 研究者教員の質・量における充実
- 4. 進級率: 2年次の進級率80%以上を維持
- 5. 修了率: 2年間50%以上、5年間80%以上を維持

- 6. 理論教育の強化、仕組み化
 - 理論教育の強化: 経営分野の予備知識・経験のない学生へのサポート体制
- 7. カリキュラムの継続的改善
 - デジタル系科目・DXを扱う科目の増加
 - ケーススタディ科目の追加
 - 一科目改定プロセスを通じた、科目改廃・内容の刷新
- 8. 教員組織強化
 - 「研究者教員の基準」を満たす研究者教員の充足率(3割)の維持
 - 研究者教員の「研究業績に関する基準」の達成

